

令和 6 年度 事業活動報告

社会福祉法人 すこやか福祉会

障害者支援施設
かたくりの里

〒953-0103

新潟県新潟市西蒲区橋本88番地1

TEL 0256-82-1811

FAX 0256-82-1815

社会福祉法人すこやか福祉会 障害者支援施設 かたくりの里は、全国身体障害者施設協議会に加盟する施設として、『障害者の権利に関する条約』の理念を遵守し、「最も援助を必要とする最後の一人の尊重」「可能性の限りない追及」「共に生きる社会づくり（ケアコミュニティの創造）」という身障協の基本理念を実現するため、ここに倫理綱領として定めます。

全国身体障害者施設協議会 倫理綱領

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国身体障害者施設協議会

1. 私たちは、基本的人権を尊重し、自己決定支援を含め、利用者一人ひとりの思いに沿ったその人らしい生活を支援します。
2. 私たちは、日々の実践を検証し、利用者に安全、安心、快適な支援を提供します。
3. 私たちは、自己研鑽に努め、専門的な知識と技術と価値観をもって、個別支援を基礎として、良質な支援の提供と自己実現支援を行います。
4. 私たちは、利用者に必要な情報をわかりやすい方法で提供し、要望にはすみやかに対応します。
5. 私たちは、広く多くの支援を必要とする障害のある方々のための支援を開発し、提供します。
6. 私たちは、多くの支援を必要とする障害のある方々をとりまく環境の改善と福祉文化の醸成に努めます。
7. 私たちは、関連機関・団体、地域住民等とともに、地域の拠点として事業を展開します。
8. 私たちは、透明性を堅持し、健全かつ活力ある経営にあたります。

障害者支援施設 かたくりの里 職員行動規範

～利用者の感動と楽しい職場のために～

前文

私たち 障害者支援施設かたくりの里 職員は、自らの行動に責任と自覚を持ち、地域社会の一員として行動するための基本的な指針として「障害者支援施設かたくりの里 職員行動規範」を定め、これを職員相互で常に確認し合い遵守します。

1 社会的ルールの遵守・コンプライアンスの徹底

私たちは、強い意志の下、関係法令、法人の定めた諸規程はもとより、法人の理念や社会的ルールの遵守を徹底します。

2 個人の尊厳

私たちは自らの先入観や偏見を廃し、利用者の個性や気持ちを真摯に受け止め、誠実な態度で、利用者一人ひとりに接します。

3 人権の尊重

- (1) 私たちは、利用者の人権と人格を最大限に尊重し、個性や感性の違いを認め、全ての人が平等であるという考えの下に行動します。
- (2) 私たちは、体罰、暴言、威圧的・強制的対応、無視、差別的対応、嫌がらせ（ハラスメント）、身体拘束、プライバシーの侵害など、人権侵害行為は決して行いません。
- (3) 私たちは、人権侵害行為や虐待を発見した場合は、直ちに上司に報告し、「虐待防止委員会」を速やかに開催し適切に対応します。

4 安心で安全な暮らしの保障

- (1) 私たちは、リスク管理に万全を期し、事故防止および安全の確保に努めます。
- (2) 業務上知り得た個人情報決して外部に漏らしません。退職後も同様とします。

5 自己選択・自己決定権の保障

私たちは、利用者の特性に応じた働きかけや説明を行い、可能な限り自己選択・自己決定ができるように支援します。

6 満足度の高いサービスの提供

私たちは、利用者の意思やニーズを十分に把握し、「やすらぎ」と「生きがい」のある生活が送れるようにサービスを提供します。

7 社会参加の促進

私たちは、社会資源の活用や情報提供を積極的に行い、利用者の社会参加の促進に努めます。

8 専門性の向上

- (1) 私たちは、利用者支援の専門性を高めるため、常に努力と自己研鑽に努めます。
- (2) 私たちは、各種資格の取得に努め、専門性の向上を図ります

令和6年度かたくりの里 事業報告

<目 次>

ページ

1	理念・基本方針	1
2	令和6年度 事業方針	2
3	令和6年度 中期方針 振り返り	2
4	障害福祉サービス事業	3
	施設入所支援	3
	生活介護	3
	短期入所	4
	指定特定相談支援事業	5
5	職員体制	6
6	生活支援課業務報告	6
	入所支援係	6
	地域支援係	7
	療護係	7
	総務係	12
7	業務委員会	13
	権利擁護	13
	安 全	15
	環境整備	16
	生活向上	17
	防 災	18
	研 修	19
	日中活動	21
	情報管理	23
	業務検討会	23
8	施設外活動	25
9	補助金・助成金等事業報告	26

1 理念・基本方針

○運営理念

HAPPY & ENJOY
～ ころ豊かな暮らしを 地域と共にあゆむ ～

○目的

障害者支援施設 かたくりの里は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他必要な施設障害福祉サービスを適切かつ効果的に行うことにより、障害者の福祉の増進を図ることを目的とする。

○方針

障害者が日常生活または社会生活を営むための支援は、障害の有無にかかわらず等しく基本的人権を享有するかけがえない個人として尊重されるものであるとの理念に乗っ取り、すべて障害者は、個人の尊厳が重んじられ、その尊厳にふさわしい支援を保障される権利を有するものとする。すべて障害者は、社会を構成する一員として社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会を与えられるものとする。利用者の尊厳、人権とプライバシーを重視した対応に心掛け、充実した人生を安全で快適な生活環境のもとで過ごせるように配慮する。また、高齢化等による2次的な障害の防止に努めると共に、地域社会との幅広い交流を通して健全な生活が営まれる開かれた施設の運営を行う。

施設の中だけで生活が完結することではなく、社会の構成員として社会参加し、障害者問題に対する地域住民からの理解と認識を深めるための啓発活動も必要である。利用者の社会生活を促進し、地域生活・在宅生活へ移行するために必要な援助や地域等との連絡調整を積極的に行う。

○利用者個人の尊厳を尊重し、適性、障害の特性その他の事情を踏まえて個別支援計画を作成します。
これに基づき利用者主体のサービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施し、利用者に対して適切かつ効果的なサービスを提供します。

○生活の場としての施設支援サービスの提供とともに、地域生活への移行を意識した社会生活力向上プログラムや積極的な社会参加を促進していくプログラム、日中活動を提供します。

○開かれた施設を目指し、地域交流スペースの活用と地域との連携を図ります。

2 令和6年度 事業方針

- (1) 「HAPPY & ENJOY」を合い言葉に、明るく楽しい生活空間を創造する。
- (2) 利用者のニーズを把握し、個別支援計画を策定し実施する。
- (3) 利用者が積極的に社会参加できるよう社会生活力向上プログラムを計画し実施する。
- (4) 利用者が主体的に活動できるよう自治組織と協力する。
- (5) 計画相談支援の事業を行うことにより、障害福祉サービス利用者の利便性を向上させる。
- (6) 利用者の苦情等に対しては、真摯に受け止め解決を図るように努める

3 令和6年度 中期方針 振り返り

○福祉サービス第三者評価受審後の取り組み（令和4年～6年）

第三者評価受審後、課題となっていた個別支援計画に関する記録の整備について、サービス管理責任者を中心に実施した。次回、令和8年度の受審に向け準備を行う。

○介護リスクマネジメントの取り組み（令和4年～6年）

- ・マニュアルを改訂し、各係・委員会の役割が明確となり、事故ヒヤリハット報告方法や家族への報告体制も整備された。
- ・リスクマネジメント研修、KYT（危険予知トレーニング）、行動目標の唱和を実施した。
- ・今後は事故原因の分析強化、職員間の情報共有・フィードバック方法の整備に取り組んでいく。

○接遇力向上の取組み（令和5年～7年）

- ・接遇力向上のための研修を全職員に実施した。
- ・適切な支援に向けた行動目標を定め、毎日唱和した。

○福祉人財の育成と定着に向けた取組み（令和5年～7年）

- ・全職員に対し自己申告書を実施し、希望者に対し面接を実施した。
- ・ビジョン実現型人事考課制度トライアル運用に関する説明会を業務検討会にて実施した。

○意思決定支援の推進（令和6年～8年）

- ・サービス管理責任者を中心に会議を開催し、意思決定支援へ取り組みを行った。
- ・全職員を対象に意思決定支援に関する施設内研修を実施した。

○施設設備整備（令和6年～8年）

令和6年5月 高圧受電設備機器入替工事

6月 電気昇温貯湯槽 昇温タイマー、昇温機器交換工事

10月 療護浴室リフト浴槽改修工事・特殊浴槽設置工事

4 障害福祉サービス事業

■施設入所支援（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

定員50名（ALS 居室利用者は定員内数で利用する）

障害支援区分4（50歳以上は区分3）以上が該当する。

入退所動向

入 所 男性5名 女性1名

退 所 男性6名

令和7年3月31日現在

		障害支援区分				年 齢		
性別	利用者数	3	4	5	6	最小年齢	最高年齢	平均年齢
男性	30	1	4	12	13	24歳2ヶ月	81歳3ヶ月	60歳7ヶ月
女性	20	0	2	1	17	33歳5ヶ月	77歳9ヶ月	59歳7ヶ月
	50	1	6	13	30	男女平均年齢 59歳9ヶ月		

令和6年度 施設入所支援 利用状況・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月末登録者数	50	50	50	50	50	50	50	50	49	49	49	50
延べ人数	1479	1550	1496	1519	1476	1394	1448	1439	1484	1482	1301	1510
入院・外泊	21	0	4	31	62	105	53	38	27	37	59	0
稼働率(%)	98	97	97	99	98	96	92	96	97	95	96	97

令和6年度年間稼働率 96%

令和7年3月末待機者 男性 2名 女性 3名 計 5名

■生活介護（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

定 員 50名

施設入所は区分4（50歳以上は区分3）以上

地域生活（通所等）区分3（50歳以上は区分2）以上が該当する。

支給量は施設入所、地域ともに月数－8日

営業時間は8：30～17：00。土日と年末年始の送迎サービスは実施しない。

令和7年3月31日現在

令和6年度 通所 登録利用者 21名

(地 域)		障害程度区分					年 齢		
性別	利用者数	2	3	4	5	6	最小年齢	最高年齢	平均年齢
男性	11	0	2	4	0	5	19歳4ヶ月	61歳7ヶ月	45歳4ヶ月
女性	10	1	1	1	2	5	27歳7ヶ月	66歳3ヶ月	50歳0ヶ月
	21	1	3	5	2	10	男女平均年齢 47歳6ヶ月		

令和6年度 生活介護 利用状況・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設利用者	1087	1150	1100	1127	1100	1027	1071	1060	1105	1103	953	1126
通所利用者	168	148	165	174	153	147	142	135	124	154	113	147
延べ人数	1255	1298	1265	1301	1253	1174	1213	1195	1229	1257	1066	1273
稼働率(%)	84	84	85	84	81	78	78	80	79	81	76	81

令和6年度年間稼働率 81%

■短期入所 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

令和6年度利用登録者数 31名 男性 16名 女性 15名

地 区	男性	女性	短期利用の理由 (人)	特 記 事 項
西蒲区	6	4	介護者の負担軽減(11) 緊急 (1)	生活介護併用(9)
秋葉区	1	0	介護者の負担軽減 (1)	
燕市	7	9	介護者の負担軽減(14) 緊急(2)	生活介護併用(4)
三条市	2	2	介護者の負担軽減(4)	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	22	22	21	22	19	18	18	13	13	14	12	15
利用日数	88	95	80	125	118	79	73	66	55	82	55	67

定員 5名 併設福祉型短期入所サービスを提供した。

令和6年度年間稼働率 54%

半数の利用者が生活介護を併用し、短期入所と日中活動を併用する短期入所(Ⅱ)を算定。

宿泊をとまなうサービス提供なので、施設入所支援係との連携が不可欠であり、入退所に伴う事務処理、荷物のチェック等、利用者に迷惑がかかることがないように職員間での連絡・報告を確実にする必要がある。

□国土交通省短期入所協力事業

自動車事故が原因で、重度の後遺症を持つため、日常生活動作について常時又は随時介護が必要な状態の方を受け入れる施設として、平成27年10月に指定を受けた。

令和6年度受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1
利用日数	4	4	4	4	4	4	0	0	4	4	4	4

□新潟市地域生活拠点等事業

在宅で生活する障がいのある方で、高齢のご家族等と生活する方を対象とし、緊急時の受け入れ・対応を行い、安心安全な地域生活の継続を支援するため、令和3年4月に登録を行った。

令和6年度受入実績なし。

指定特定相談支事業

地域連携相談室 すこやか 令和6年度事業活動報告

(1) 相談支援事業の概要

「地域連携相談室 すこやか」の指定計画相談支援の事業を行うことにより、障害福祉サービス利用者の利便性を向上させる。

- 指定計画相談支援 ○サービス利用支援
- サービス等利用計画案及びサービス等利用計画の作成
- 継続サービス利用支援
- サービス等利用計画の見直し

<実施状況>

月	計画作成数	モニタリング数	計
4	4	6	10
5	2	9	11
6	5	7	12
7	3	4	7
8	6	4	10
9	2	5	7
10	4	3	7
11	6	7	13
12	1	7	8
1	2	8	10
2	3	7	10
3	2	7	9
合計	40件	74件	114件

(2) 事業の内容

【人員配置】 管理者 1名（相談支援専門員兼務）
相談支援専門員 2名（常勤専従1） （常勤兼務1）

【主たる対象とする障害】 特定しない

【営業日時】月～金 8：30～17：15 但し、祝日、12月29日～1月3日を除く

【通常の事業実施範囲】 新潟市西蒲区 燕市 弥彦村

【他機関との連携体制】

- ・ 障害者支援施設かたくりの里 入所支援係、地域支援係と連携した。
- ・ 西蒲区自立支援協議会相談支援事業所会議への参加と共に、西蒲区障がい福祉係、新潟市障がい福祉課と連携を図った。
- ・ 新潟市基幹相談支援センター主催の研修会に参加した。
- ・ 新潟市基幹相談支援センターや新潟市西蒲区の相談支援事業所、障害福祉サービス事業所等と連携を図った。
- ・ 相談支援専門員現任研修に相談支援専門員1名参加。

5 職員体制

■人員配置

職 種 等	人数
施設長	1
医師（嘱託）	1
サービス管理責任者	2
看 護	3
作業療法士	1
生活支援員	3 5
管理栄養士	1
事務職員	1
特定相談支援事業	
管理者（兼務）	1
相談支援専門員	2

【人員配置による報酬算定状況】

施設入所支援

- ・夜勤職員配置体制加算
- ・重度障害者支援加算
- ・栄養マネジメント加算

生活介護

- ・人員配置体制加算（1.5：1以上）
- ・福祉専門職配置等加算
- ・常勤看護職員等配置加算
- ・リハビリテーション加算

短期入所

- ・栄養士配置加算

■会 議

すこやか福祉会定例会議	毎月 1 回
運営会議	毎月 第3火曜日
業務検討会	毎月 第2火曜日
各係・委員会会議	毎月 1 回

6 生活支援課 業務報告

■入所支援係

【年度目標】 施設内事故防止のための取り組み強化

【評 価】 アクシデント発生から評価までの流れが明確化され、対策漏れや風化を防止した。
また、従来の曖昧な対策から組織的かつ具体的な対策を実施することができた。
一方で、職員の役割認識不足や引き継ぎの遅れで迅速な対応が難しい場面があった。

【活動内容】

- ・サービス管理責任者を中心に個別支援計画作成ため、ご利用者及び生活支援員・看護師・作業療法士管理栄養士・相談支援専門員が参加しカンファレンスを行った。
- ・原則として中間評価を6か月後、終了時評価を12か月後に実施。又、再アセスメントを前回作成したアセスメントシートを基に実施したことで、利用者の思いや身体状況等の変化を情報収集しやすくなった。
- ・利用者の急な状態変化、ニーズの変化には、随時カンファレンスを開催して個別支援計画の再検討を行うことにより円滑に支援を実施できた。
- ・入院時の病院、家族との連絡調整、利用者に必要な支援を行った。
- ・入退所時の必要な支援、調整を行った。
- ・成年後見制度利用の為の支援を行った。

- ・ノーリフトポリシーに基づき、利用者と職員の双方にとって安全で安楽な移乗方法の検討を行い、実施した。
- ・新規採用職員に対し、プリセプターを中心に新人研修を実施した。
- ・職員からの相談事や不適切な言動について、主任以上が担当し随時話し合いを行った。
- ・ケアハラスメントについての職員聞き取り、利用者へのお願いを行った。
- ・業務の流れの見直しを行った。

■地域支援係

【年度目標】 関係機関との情報交換、連携を図りながらサービスを充実させ、意義のある施設利用ができるよう支援を行う

【評価】 利用者の状況に合わせて都度相談員や家族に連絡し、情報共有を図ることはできた。達成度は80%とした。

□生活介護（通所）

今年度新規受け入れ者数 4名

今年度終了者数 5名

□短期入所事業

今年度新規受け入れ者数 4名

今年度終了者数 6名

今年度緊急短期入所受け入れ者数 3名

【活動内容】

- ・サービス担当者会議に参加、他事業所と情報共有し、施設での支援に反映させた。
- ・がくふく連携会議に1回参加した。
- ・医療的ケアが必要な利用者に対し、喀痰吸引等研修を修了した職員による喀痰吸引や経管栄養の注入を実施した。
- ・感染予防対策とし、利用者の体調確認、空気清浄機の活用、手洗い・うがいの励行、都度必要備品等の消毒を行った。
- ・通所利用者、短期入所利用者のADLに合わせた支援を提供した。

■療護係

【年度目標】 「療護係のビジョンを意識して行動する」

【評価】 療護係会議やミーティングを行う事で、療護係内の情報共有や他部署との連携ができるようになり、課題解決ができた。まだ情報共有や多職種協同に関して、不十分な点もあるため来年度の課題とする。

【活動内容】

□看 護

1. 利用者の健康管理

- ・朝の申し送りから情報を得て、利用者の体調のチェックを行った。
- ・利用者の体重、体温、血圧測定を月1回行った。
- ・利用者検温を1日1回行った。

2. 利用者の医療処置

- ・排便チェック表に添って排便状態を把握し、必要に応じて浣腸、坐薬等を使用した。
- ・膀胱洗浄、留置カテーテル交換、褥創処置、軟膏処置、包交、点眼、点耳、点鼻、爪切り、経管栄養の注入、痰吸引等行った。
- ・使用した医療物品の消毒、高圧滅菌等を行った。
- ・医療廃棄物を管理、処理の依頼。

3. 利用者の通院介助

- ・通院の送迎、介助を実施した。
- ・主治医への状態報告、主治医からの指示を受け次回の予約確認をした。
- ・調剤薬局へ処方箋を送り、薬の受け取りをした。
- ・個人のカルテに受診内容の記録を行い、必要事項はケース記録等でスタッフに伝達した。
- ・医務室の受診予定表に次回の予約を記入した。

4. 利用者の服薬の管理

- ・主治医から処方された薬を医務室で保管した。
- ・内服薬は個人別に投薬車で管理した。
- ・利用者の1日分の内服薬の準備を行なった。朝、昼、夕、眠前トレーに薬を用意した。
- ・誤薬を防ぐためにトリプルチェックを行いチェック表にサインをした。

5. 嘱託医診療の支援

- ・大西洋司先生に月2回往診時、診察の介助を行なった。
- ・利用者の体調管理に関する相談し、容体が悪化した場合紹介状をいただき他科受診を行った。
- ・利用者の入退院があったときは報告した。
- ・インフルエンザ予防接種の準備と接種の介助を行った。
- ・コロナワクチン接種7回目までの希望者に接種の介助を行った。
- ・大西先生が主治医になっている利用者の定期処方を毎週1回行なった。
現在処方してもらっている44名の利用者を四つのグループにわけ、毎週月曜日にファックスを送り、翌週の水曜日に薬を受け取りに行った。

6. 安藤医院(泌尿器科)の往診介助

- ・安藤先生の月2回、水曜日の往診時に診察の介助を行った。
- ・利用者8名のフォーレ交換と3名の薬の処方を依頼した。
- ・往診1週間前に個人の定期薬をファックスで依頼した。
- ・フォーレカテーテルの交換、膀胱洗浄の介助を行った。

7. 利用者の入退院の準備および介助

- ・看護情報を作成し入院時用意した。
- ・病院に持っていく薬等の準備をし、生活支援員に衣類等の入院準備を依頼した。
- ・入院中は、支援員とともに病院との連絡を行った。
- ・退院が決まったときは病院の担当看護師より必要な情報を受け取った。

8. 利用者の体重測定、検温、血圧測定を月1回行った。

9. 年間保健衛生計画の実施

- ・インフルエンザ予防接種

施行日：令和6年12月、9月 接種人数：利用者44名 職員53名

- ・健康診断 年2回

1回目実施日：令和6年8月29日(木) 午後13時30分～16時00分

健診項目：検尿、採血、心電図、血圧測定、診察

参加人数：45名 受けない方4名(入院中2名、個人で受けた方1名)

2回目実施日：令和7年3月13日(木) 午後14時00分～16時00分

健診項目：検尿、採血、心電図、血圧測定、(診察なし)

参加人数：40名 受けない方9名(入院中6名、個人で受けた1名、体調不良2名)

胸部レントゲン撮影：19名

10. スタッフ研修の実施

- ・バイタル測定等の説明。
- ・新人職員へのオリエンテーション
- ・新型コロナウイルス講習
- ・鼻腔口腔吸引、経管栄養の滴下、半固形注入の研修と評価

11. その他

処置に使用する薬剤、医療材料、物品等の購入及び管理。

入院状況一覧（令和6年4月～令和7年3月）

	入院治療	
	人数	期間（日数）
内科	6	154
皮膚科	1	119
神経内科	1	62
外科	1	40
精神科	2	30
呼吸器内科	3	25
小児科	1	9
計	12	439

病院別受診状況（令和6年4月～令和7年3月）

病 院 名	受診件数
大西医院	371
岩室リハビリテーション病院	211
ひらさわ歯科	160
安藤医院	102
しまがきクリニック	33
佐潟公園病院	29
県立吉田病院	25
県央基幹病院	18
ツチヤデンタルクリニック	15
新潟白根総合病院	15
白根緑ヶ丘病院	14
新潟市民病院	12
渡辺耳鼻科	11
新潟付属病院	10
後藤クリニック	9

大島病院	6
三条三之町病院	5
富樫医院	5
西新潟中央病院	4
いわぶち整形外科	4
富永草野病院	3
済生会第2病院	2
さくらざわ眼科	2
日本歯科大	2
信楽園病院	2
新潟脳外科病院	2
西蒲メディカル病院	1
坂井眼科	1
つばめ皮膚科	1
はすいけ整形外科	1
おおくら耳鼻科	1
計 32	1,072

□ 栄 養

【活動内容】

1. 経口維持加算の算定

平澤歯科医師に参加していただき、月1回のミールラウンド実施により、経口維持加算Ⅱを算定した。

2. 口腔衛生管理体制加算

半年に1回、計画を作成し、その内容を職員に周知した。

3. 栄養ケアマネジメントの実施

利用者全員に対して栄養ケアマネジメントを実施した。

栄養状態別にスクリーニングを実施し、さらにモニタリング、必要であれば栄養ケア計画の変更を行った。

4. 委託会社と連携し、安全かつ衛生的に食事の提供を行い、利用者の嗜好が配慮された献立又は季節を感じる献立の作成に努める。

食事への異物混入は、1件（焼きそばにビニール片）。

食材料費が高騰を続ける中、利用者の要望に応えることが難しく、委託会社の提案する行事食は、現行の食材料費で、少し豪華に見える為、積極的に取り入れた。

5. 給食会議の企画運営

毎月第3木曜日、14時から実施。

内容：利用者の要望や意見、調理や献立についての要望、行事食についてなど

利用者の声には可能な範囲で応えるように努めた。変更を行った。

〈今年度実施した行事食〉

月	行事	主な献立
4月	施設開所日（1日）	ストロベリーケーキ
	すまいるデザート（11日）	あまおうモンブラン
	みんなの日曜日（21日）	たいめいけんミートグラタン
5月	端午の節句（5日）	コーンご飯、から揚げ、抹茶パンケーキなど
	みんなの日曜日（12日）	ＣＯＣＯ壺番屋特製カレー
	すまいるデザート（16日）	愛知県産西尾抹茶シフォンケーキ
6月	夏至（21日）兼すまいるデザート	レディーボーデンアイス
	神奈川県みどころ御膳（24日）	かて飯、牛鍋、紫陽花ゼリーとレアチーズプリン
	みんなの日曜日（30日）	たいめいけんシーフードグラタン
7月	七夕（7日）	七夕そうめん デザートなど
	みんなの日曜日（14日）	ＣＯＣＯ壺番屋特製カレー
	土用の丑の日（24日）	主食主菜の選択（うなぎ丼/豚丼）
8月	すまいるデザート（8日）	スフレロール
	お盆（13日）	いなり寿司など
	すまいるデザート（21日）	アイス
9月	敬老の日（16日）兼すまいるデザート	モンブラン
	十五夜（17日）	お月見ゼリー
	秋分の日（23日）	おはぎ2種（きなこ、こしあん）
10月	スポーツの日（14日）	おにぎり
	すまいるデザート（18日）	ダブルチーズケーキ
	みんなの日曜日（20日）	吉野家特製牛丼
11月	みんなの日曜日（3日）	ＣＯＣＯ壺番屋特製カレー
	すまいるデザート（13日）	鳴門金時ケーキ
	鹿児島県みどころ御膳（25日）	鶏飯、つけ揚げ、白くま風 など
12月	冬至（22日）	南瓜料理
	クリスマス（25日）	チキンライス、主菜選択（鶏から揚げ/ミックスフライ）
	大晦日（31日）	年越しそば、おせち
1月	正月（1日）	赤飯、おせち料理
	（3日）	海鮮丼
2月	節分（3日）	大豆料理
	すまいるデザート（14日）	ティラミス
	みんなの日曜日（16日）	たいめいけんグラタン
	和歌山県みどころ御膳	かきまてご飯、せち焼、みかんラッシー風デザートなど
	鍋の日	中止（新型コロナのクラスターが発生した為）
3月	桃の節句（3日）	すし膳（生寿司）
	すまいるデザート（11日）	とちあいかモンブラン
	春分の日	おはぎ2種（きなこ、こしあん）

6. 嗜好調査

- ・給食会議において、利用者からの意見、要望などを聞いた。
- ・すまいるデザートを、毎月数種類ある中から、利用者に聞き取りをして、希望の多かったものを提供した月もあった。
- ・選択メニューの実施

7. 健康教室

月	内容	参加者
4月	皮膚トラブル	6
6月	熱中症	6
7月	口腔ケア	6
8月	記憶力について	6
10月	インフルエンザにかかりにくい生活習慣	4
11月	ご飯を美味しく食べるための体操	4
12月	瞑想のススメ	7
1月	花粉症	6
2月	大気汚染	9
3月	口腔清掃	4

□機能訓練

1. リハビリテーションマネジメントの実施

- ・リハビリテーション実施計画書に基づいた個別訓練を実施した。
- ・機能訓練室だけでなく、居室や食堂などのスペースを利用して個別リハビリや自主訓練を行い、機能の維持・回復に努めた。
- ・手作業を中心とした作業活動を提供し、作品を仕上げていくことで、楽しみや意欲向上につながるように支援した。

2. 歩行補助具(車椅子や歩行器など)や日常生活用具(ストマなど)の申請・メンテナンス

- ・各利用者の身体機能に合った車椅子や歩行器で、移動を快適かつスムーズに行うことが出来るようアプローチした。
- ・日常生活上で感じる不自由さの相談を受け、適切な福祉用具などの選定にあたった。
- ・環境整備委員会や事故対策委員会などと協力し、補装具のメンテナンスが定期的にできるようにアプローチした。

■総務係

令和6年度中期方針に基づき「施設設備整備」の取り組みを実施した。

【年度目標】「環境整備等を通じて施設の運営を支えると共に、ご利用者が安心できる施設づくり、職員が働きやすい環境づくりを行います」

【評価】1月に雑用水加圧ポンプが故障し、ご利用者の生活や職員の業務に大きく支障が出てしまったため、目標は未達成。今後はリスクを未然に把握し、迅速な修理対応を行うことで、支障が出ないようにする。

【活動内容】

施設運営事務全般に関わる業務、経理、労務管理、施設管理等を行った。

- ・ 職員の入職・退職、産休・育休に関する手続き（提出書類案内等）
- ・ 職員健康診断、ストレスチェックの取りまとめ、衛生管理
- ・ 職員勤怠の確認
- ・ 給与資料作成
- ・ 月末業者請求等の支出会計処理
- ・ 介護報酬、利用料等の収納会計処理
- ・ 介護報酬請求業務（国保連合会へ電子請求）
- ・ 利用者への利用料請求業務（請求書印刷、引き落とし、現金受領処理）
- ・ 予算作成
- ・ 現金出納管理
- ・ 出張命令、旅費作成
- ・ 補助金・助成金申請
- ・ 施設設備、機器の保守管理
- ・ 備品、消耗品の発注業務
- ・ 施設内を巡視し給湯・雑用水・エアコン設備等の運転状況確認、節電の実施

施設設備整備（令和6年～8年 中期方針）

令和6年5月 高圧受電設備機器入替工事

6月 電気昇温貯湯槽 昇温タイマー、昇温機器交換工事

10月 療護浴室リフト浴槽改修工事・特殊浴槽設置工事

7 業務委員会

職員の業務分担としての委員会活動報告

■権利擁護

令和6年度中期方針に基づき、「接遇力向上の取り組み」「意思決定支援の推進」を実施した。

【年度目標】「適切な支援に向けた取り組みを強化し、虐待を未然に防ぐ」

【評価】 虐待（疑い）及び不適切な支援に関する通報が2件発生したため、目標は未達成とする。施設として厳粛に受け止め、二度と発生しないよう取り組みを行った。不適切な支援に関するグループワークの開催、朝のミーティングでの唱和、意思決定支援に基づいた支援について施設内研修を実施し、職員の人権意識向上を図った。

1. 苦情・要望

月	要望	報告	苦情	報告	苦情の分類	合計
4月	1	0	3	1	他利用者に対して(1)、職員に対して(2)	4(1)
5月	1	0	0	0		1
7月	1	0	1	0	他利用者に対して	2
8月	1	0	2	0	他利用者に対して(2)	3
10月	0	0	2	0	職員に対して(1)、その他(1)	2
12月	1	1	0	0		1(1)
1月	0	0	2	2	施設に対して(1)、介助方法や支援内容に対して(1)	2(2)
2月	1	1	1	1	介助方法や支援内容に対して(1)	2(2)
3月	1	0	4	3	施設・職員・他利用者に対して(各1)、ケアの内容	5(3)
合計	7	2	15	7		22(9)

() 報告件数

【年間苦情・要望総数】 要望7件、苦情15件(すべて解決・対応済)

- ・毎月の業務検討会、運営会議において、苦情・要望内容の報告を実施した。
- ・苦情・要望内容と1ヶ月後の評価を、毎月第三者委員へ報告を行った。

2. 権利擁護、虐待防止に対する取り組み

- ・令和6年4月入所者への虐待(疑い)が発生した。調査の結果、虐待には至らなかったが、燕市に改善計画を提出した。
- ・令和6年6月利用者への不適切な支援に関する通報が発生し、新潟市に改善計画を提出した。
- ・適切な支援に向けたグループワークを2回開催した。
- ・適切な支援に向けた行動目標を月ごとに定め、毎日ミーティング時に唱和した。
- ・虐待防止・身体拘束に関するオンライン研修を全職員対象に実施した。
- ・業務振り返りチェックリストを全職員対象に実施した。
- ・オムツの当て方に関する改善の取り組みを行った。

3. 身体拘束等の廃止に向けた取り組み

- ・委員会で身体拘束等に関する報告を実施した。
- ・個別支援計画に組み込み、定期的に解除方法の検討を行った。
- ・身体拘束適正化委員会にて、身体拘束の必要性、支援の工夫等アセスメントシートを活用し、検討を行った。
- ・令和6年度、身体拘束に関する施設内研修を実施した。

【令和6年度 身体拘束解除状況】

入所者 1件 通所利用者 0件

【令和6年度 新規身体拘束同意状況】

入所者 1件 短期入所者 1件

接遇力向上の取組み(令和5年～7年 中期方針)

- ・接遇力向上のための研修を全職員に実施した。

- ・適切な支援に向けた行動目標を定め、毎日唱和した。

意思決定支援の推進（令和6年～8年 中期方針）

- ・サービス管理責任者を中心に会議を開催し、意思決定支援へ取り組みを行った。
- ・全職員を対象に意思決定支援に関する施設内研修を実施した。

■安 全

【年度目標】

- ・感染症情報を確認し、職員へ随時発信することで感染症に対する意識の向上を図る。
- ・BCPを活用し、感染症に関する対応ができるよう研修を計画、実施する。

【評 価】

- ・感染症情報を発信することはできたが、意識を高められたかは疑問がある為、達成度は低い。
- ・感染症の研修は計画通り実施できたが、BCPの活用といった面で課題が残った。BCPの見直しや研修の在り方も含め検討していきたい

1. 褥瘡対策検討

【活動報告】

- ・入浴時、排泄介助時等に身体の観察を行い、異常発見時は看護師の確認後に褥瘡診療計画を作成した。
支援員（介助方法）管理栄養士（栄養強化の有無）NS（処置方法）OT（移乗、座位、臥位）について検討し周知した。
- ・年間を通じて7名の利用者に褥瘡が認められた。
- ・褥瘡予防として寝具や衣類などに関して啓発を行い、意識を高められるようにした。

2. 特定行為について

【活動報告】

- ・医療的ケアを必要とする人たちへの支援を実施した。
- ・喀痰吸引等研修2号研修の基礎研修に2名参加し、その後実施研修を行った。

3. 感染症対策

【活動報告】

- ・新型コロナウイルスを含む感染症情報を収集し、職員への注意喚起を行った。
- ・感染症対策の備品の管理を行った。
- ・新型コロナウイルスを含む感染症の事業継続計画（BCP）の更新に取り組んだ。
- ・感染症に関わる研修を動画や実践を通して行った。（食中毒、嘔吐物処理）
- ・BCPを活用できるよう研修を計画、実施した。

■事故対策委員会

令和6年度中期方針に基づき、「介護リスクマネジメントの取り組み」を実施した。

【年度目標】ヒヤリハット報告を積極的に行い、事故を減らす

【評 価】重大な事故は減り、事故件数も減ったため概ね達成できた。ヒヤリハット報告の情

報共有と再発防止対策が不十分なことが、事故防止に繋がりにくい要因であるため、
今後はヒヤリハット報告の質向上を目指す。

【活動内容】

1. 事故・ヒヤリハット報告の管理・分析

【事故・ヒヤリハット報告集計】

事故発生件数 89 件 ヒヤリハット発生件数 148 件

事故・ヒヤリハットの確認事項のチェック表を作成し、入所支援係の主任に報告書作成の際に使用
してもらうようにした。今後、発見者が記入する事も検討する。

2. 再発防止策を職員に周知させる方法の検討

- ・再発防止策の周知方法は、変更しなかったが、特に重要な申し送り事項などは、スタッフルーム
内に掲示して注意喚起を行った。
- ・対策担当を各主任係長としたことで、現場での課題意識の向上につながった。

3. 危険予知活動（KY 活動）

- ・危険予知訓練（KYT）の研修を各委員会にて実施した。
- ・リスクマネジメントの行動目標を毎日のミーティング時に声出し確認した。（隔月）
- ・服薬介助チェックを実施した。
- ・入所支援係へのリスク収集のアンケートを実施し、対策を検討した。

介護リスクマネジメントの取り組み（令和4年～6年 中期方針）

- ・マニュアルを改訂し、各係・委員会の役割が明確となり、事故ヒヤリハット報告方法や家族への
報告体制も整備された。
- ・リスクマネジメント研修、KYT（危険予知トレーニング）、行動目標の唱和を実施した。
- ・今後は事故原因の分析強化、職員間の情報共有・フィードバック方法の整備に取り組んでいく。

■環境整備

【年度目標】節約意識向上の為の啓発活動

【評 価】啓発活動はなかなか具体的には出来なかったが、備品の購入先として現在使用して
いる物品と同等の物を安価に購入できる業者を選定した。

1. 備品

【活動内容】

- ・消耗品の発注と管理、購入手配
- ・介護用品の管理、発注
- ・故障、破損物など修理依頼方法の更新
- ・備品倉庫管理
- ・備品管理簿、備品貸出表の管理

2. 環境整備

【活動内容】

- ・利用者の日常生活における環境整備、向上、職員業務の円滑さを目的とし、施設内環境整備、週間清掃、洗濯室掃除等の業務を遂行した。
- ・居室コンセント破損防止対策として、電動ベッド移動や昇降で差込口を破損しないよう配線した。
- ・浴室での感染症対策として使用物品購入、消毒システムを実施した。
- ・備品、消耗品の保管場所の検討、既存の収納スペースの整理と活用法の検討を行った。
- ・浴室環境整備にて洗面台の手すりを撤去し移乗スペースの確保を行った。
棚、浴室備品の整理。
- ・毎月の担当利用者の車椅子点検を実施した。

【年間活動】

4月21、22日	廊下ワックス清掃
4月18日	雨水濾過装置点検 貯湯槽清掃
5月～6月	ベットパット、布団交換（冬→夏）
6月	衣替え
6月13日	エアコンフィルター清掃（居室含む）
8月1日～31日	大清掃
10月18日	ガラス・網戸清掃（屋外のみ）
10月～11月	ベッドパッド、枕、布団交換（夏→冬）、衣替え
11月16日、17日	ワックス清掃（居室以外）
1月22日	エアコンフィルター清掃（共用部のみ）
3月	備品管理簿チェック 倉庫整理

3. 理容室・美容室の連絡調整

利用者の希望時間調整。理容室、美容室との日時・人数連絡。チラシによる利用者への連絡。代金支払い支援を行った。

■生活向上

【年度目標】 「利用者個人の意向やADLを考慮しながら、適切な支援がスムーズに行えるように業務の見直しや検討を行う」

【評価】 利用者の意向に沿いながら適切な支援が行えるよう検討、見直しが行えた。

1. 入浴

【活動内容】

- ・入浴日程表、入浴順番表、衣類準備表は利用者の変動に応じて随時見直し更新した。
- ・浴室の適切な温度調整のため、夏季はウインドエアコン、冬季はセラミックヒーターを使用し利用者、職員の双方の身体的負担の軽減に努めた。
- ・経年劣化により汚損、破損した物品がないか定期的に点検し必要に応じて購入した。

2. 排泄

【活動内容】

- ・女性オムツ交着が増加した為、交換時間の見直しを行い、使用するパットの種類を変更した。
- ・委員会メンバーがオムツの当て方の講習会に参加し、その内容を職員全員に伝達した。
- ・新規利用者の追加に伴いその都度、排泄チェック表の更新、見直しを行った。

3. 整容

【活動内容】

- ・顔拭き、髭剃りチェック表、爪切りチェック表の管理・更新を行った。
- ・口腔ケア用品の交換と状態の確認について毎月連絡、申し送りを行った。

4. 食事

【活動内容】

- ・食席の見直し、変更。
- ・食事介助を行う職員の配置変更
- ・居室配膳者への配膳時間と方法の見直し
- ・月一回給食会議への出席と参加利用者の選出
利用者から出た食事に関する意見の収集
- ・冬季に行われる鍋料理は今年度は新型コロナ蔓延のため中止。
- ・水分、おやつチェック表の見直し、更新
- ・食席や食事に関する苦情、要望にその都度対応した
- ・給湯室冷蔵庫の保存期間の管理基準の制定

5. 購買、買い物サービス

【活動内容】

- ・むつみや（毎週木曜FAX、水曜納品）、リハビリ病院売店（毎週火曜FAX、金曜納品）
いきいき通販（毎月第2・第4火曜FAX）をそれぞれ実施した。
- ・購買や通販では購入が困難な物品について買い物リストを作成し、通所送迎時に購入した。
- ・工房やひこのパン販売（毎月第3金曜日）において、年間計画を立て、パン購入希望者の注文聞き取り、一部集金等を行った。

6. 腰痛予防対策

【活動内容】

- ・職員に介護負担に関するアンケートをとり、移乗方法改善の要望が多かった利用者への取り組みを行った。
- ・ADL低下に伴い移乗方法の変更が必要になった利用者の対応をその都度行った。
- ・スライディングボード等を活用することにより、利用者、職員とも身体的負担が軽減した

■防 災

【年度目標】 火事や地震等の非常時に備え、利用者の障害特性に応じた適切な避難方法を検討し、訓練に活かしていく。

【評 価】 避難訓練時、利用者想定で移乗・誘導を合わせた訓練に取り入れることで、訓練内

容は充実できた。

【活動内容】

日付	実施内容	備考
4月	備品ポータブル電源点検	
4月28日	非常通報装置点検（業者）	
5月23日	春期総合避難訓練（消防参加なし）	参加5名（安達、若月、上村、藤口、田中）
6月	備品ポータブル電源点検	
7月	緊急連絡網訓練（携帯メール配信）	
8月	備品ポータブル電源点検	
10月	利用者・職員への防犯訓練説明	
10月10日	防犯訓練	参加6名（相浦、南部、本多、斎藤、田村、遠藤）
10月19日	非常通報装置点検（業者）	
11月	備品ポータブル電源点検	
11月26日	夜間想定避難訓練	参加3名（河合、織田島、本間隆）
12月	雪害対策検討、消雪設備等の点検	
1月	非常通報装置点検（業者）	

■研 修

【年度目標】

積極的な外部研修への参加と充実した研修体制の整備、研修記録の作成と報告により、職員のスキル向上につなげることができる

【評 価】

- ・年間を通して、外部、施設内問わず、積極的に研修へ参加をすることができたものの、報告体制が整っていなかったことで、学びをフィードバックすることができていなかった。それにより、職員のスキル向上へつなぐことができなかった。
- ・研修記録の作成については概ね達成することができた。
- ・新人職員研修については、毎月の研修計画作成時に組み込むことで概ね実施することができた。

1. 研修

【活動内容】

- ・研修マニュアルの管理
- ・施設内研修・法人内研修について開催の調整
- ・施設外研修への派遣・手続き
- ・新人研修についての調整

① 外部・オンライン研修

日付	研修・会議内容	場 所	参加者
5月22日	第1回 西蒲区障がい者地域自立支援協議会	巻ふれあい福祉センター	1名
6月18日	接遇マナー研修	ユニゾンプラザ	1名
7月4日	介護記録の書き方 実践に活かす記録の書き方	オンライン研修	1名
7月10日	第1回認知症ケア・対応研修	ユニゾンプラザ	2名

7月31日	口腔ケア研修	オンライン研修	1名
8月21日	第2回 西蒲区障がい者地域自立支援協議会	巻ふれあい福祉センター	1名
8月31日～9月2日	人の尊厳とスーパービジョン研修	神奈川県ロフォス湘南	1名
9月3日	ケース支援の見立て・考え方について	燕市役所つばめホール	1名
9月11日～12日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程(初任者コース)	ユニゾンプラザ	1名
9月12日～13日	新潟県強度行動障害支援者養成研修「基礎研修」	朱鷺メッセ	1名
9月19日	ティーチング研修～適切な業務指導方法の習得～	オンライン研修	1名
9月22日	介護福祉士現任研修「災害対策の実践」	ユニゾンプラザ	1名
9月24日～25日	リフトリーダー養成研修	富山県総合福祉会館	1名
9月27日	コンフリクトマネジメント研修	ユニゾンプラザ	1名
10月10日～11日	福祉職員キャリアパス対応研修(チームリーダーコース)	燕三条地場産業センター	2名
10月17日	令和6年度 ナスバ交流会	日本赤十字社新潟支部	2名
11月9日	「西蒲区災害ボランティアセンター設置・運営訓練」	岩室公民館	1名
11月20日	第3回 西蒲区障がい者地域自立支援協議会	巻ふれあい福祉センター	1名
11月27日	メンタルヘルス対策研修会	新潟美咲合同庁舎2号館	1名
12月4日～2月13日	相談支援従事者現任研修(12月4, 5日, 1月16日, 2月13日)	オンライン研修他	1名
12月6日	看取りケア研修	ユニゾンプラザ	1名
12月13日	ストレスマネジメント研修	ユニゾンプラザ	2名
2月14日	新潟市障がい福祉サービス事業管理者連絡会 新春懇談会	万代シルバーホテル	2名
2月14日	第2回地域生活拠点等整備事業に関する研修	オンライン研修	1名
2月19日	令和6年度第4回 西蒲区障がい者地域自立支援協議会	巻ふれあい福祉センター	1名
2月27日	第2回新潟市地域生活拠点等登録事業所連絡調整会議	新潟市黒崎市民会館	1名
2月27日～28日	新潟県サービス管理責任者更新研修	新潟自治会館	1名

② 施設内研修

日付	研修・会議内容	担当	参加者
4月19日	オムツのあて方講習会(講師：ネピア 宮澤様)	研修委員会	11名
4月29日～5月10日	リスクマネジメント研修(動画視聴)	事故対策委員会	全職員
5月1日～14日	食中毒に関する研修(動画視聴)	安全委員会	全職員
5月21日～6月21日	感染症BCP研修	安全委員会	全職員
6月1日～6月30日	非常食に関する施設内研修	防災委員会	全職員
7月25日	応急手当講習会(救命入門コース45分)	施設長、亀山、星野	10名
7月29日～8月11日	嘔吐物処理研修(動画視聴)	安全委員会	全職員
8月27日	応急手当講習会(救命入門コース45分)	施設長、亀山、星野	8名
11月11日～12月12日	嘔吐物処理研修(実践)	安全委員会	全職員
2月1日～23日	感染症BCP研修	安全委員会	全職員

③ 法人研修

日付	内 容	参加者
10月7日	介護現場におけるカスタマーハラスメントについての基本的な考え方	20名
11月～1月	オンラインフィードバック研修「高齢者虐待防止と身体拘束」	全職員

④ 新人職員研修について

- ・今年度の新規採用職員は入所支援係 正職員 2 名。
- ・新人職員研修計画表に基づき実施した。

2. 実習生受け入れ

期間	学校名	実習名	人数
2月19日～2月28日	新潟青陵大学	ソーシャルワーク実習	1名
2月19日～2月28日	新潟医療福祉大学	ソーシャルワーク実習	1名

■日中活動

【年度目標】

利用者の希望を取り入れ、余暇の充実、生きがい作り・発見、他利用者との交流を目的として取り組む。また、活動の成果発表や地域交流を目的とした施設外活動への参加も積極的に行えるように支援する。

【評価】

ケアガイドラインより、利用者の意見を取り入れることを課題として抽出し、行事等の際は、座談会を開催し、利用者の希望や要望を取り入れた企画を作ることができた。また、活動成果発表や地域交流も参加する事ができたので、目標は概ね達成できた。日中活動の参加者が少なくなってきたので、誰もが参加しやすい活動を取り入れていきたい。

【活動内容】

1. 日中活動

①趣味的活動

【活動日】 毎月の日中活動予定表に沿って実施

【活動時間】 13:45～14:45

【活動項目】カラオケ、書道、調理レク、映画、散歩、ゲームなど

②調理レク、食べる会

【活動内容】

○旬の物を食べる会 5月16日(木) 参加人数 25名

旬の新じゃがを使いジャガバターを提供した。

○サンデーを食べる会 7月10日(水) 参加人数：21名

暑さが続く中、サンデーを作り、涼を感じてもらった。

○焼き芋を食べる会 11月11日(月) 参加人数：33名

五泉市の「いも奉行」様より、美味しい焼き芋を提供していただいた。

○ひな祭りケーキ作り 3月4日(火) 参加人数：25名

ひな祭りケーキとして、お雛様ケーキを作って、皆さんでいただいた。

2. 外出支援

①外出支援

- ・希望者 26 名の外出支援を実施した。行先はスーパー、弥彦公園もみじ谷、上堰潟公園、岩室散策と限定し、飲食禁止として実施した。

②施設外行事

【身障協下越地区オセロ交流会】 参加者：3名

6月28日（金）新潟ふれ愛プラザにて開催。

【身障協下越地区スポーツ交流会】参加者：3名

10月16日（水）新潟ふれ愛プラザにて開催。

【いわむろ産業まつり】 参加者：2名

10月20日（日） 岩室体育館にて開催。

【にしかん・障がい者作品展】 出展者：2名

2月日～3月18日 巻ふれあい福祉センターにて開催。

かたくりの里から、2名が詩を出展した。

3. ボランティア

【活動内容】

- ・慰問などの受け入れ

- ・個人ボランティアの活動サポート

○歌の会 9月17日 ボランティア3名来所。

○マジックショー10月1日 ボランティア1名来所。

【ボランティア活動】

- ・傾聴ボランティア(リモート) 対象利用者 1名

- ・慰問

4. 行事

【活動内容】

○桜を見る会 4月11日

施設の桜を見ながら桜餅を食した。

○運動会 6月11日（日） 参加人数：34名

利用者参加競技3種に加え、職員競技を追加し、利用者、職員共に楽しめた。

○納涼祭 8月2日（金）参加人数：35名

枝豆とたこ焼きと一緒にノンアルコールビールで乾杯して楽しんだ。スイカ割りゲームも行う。

○かたくり祭 9月30日（日） 中止

感染症対応と重なり中止。

○ハロウィンパーティー 10月29日（火） 参加人数：32名

ボウリングゲーム、仮装写真撮影会を楽しんだ後、お菓子を食した。

○クリスマス会 12月22日（金） 参加人数：40名

ミニゲームを楽しんだ後、皆さんでケーキをいただき、利用者全員にプレゼントをお渡しした。

○餅つき会 1月15日（水） 参加人数：37名

杵と臼でつくたてのお餅を提供し、新年のお祝いをした。昨年度のおしるこが好評だった為今年度もおしることおろし醤油を提供した。

○節分 2月2日（金） 中止

感染症対応と重なり中止とした。別日に節分の生菓子を昼食にいただいてもらった。

■情報管理

【年度目標】 SNSを活用し、ご家族・関係者・求職者へ施設の魅力や情報を発信する。

【評価】 Instagramは定期的に活用できたが、それ以外のSNSはあまり活用できなかった。

1 【活動内容】

日付	情報管理	広報
4月	新年度マニュアルの発行	
5月	入所利用者手順書更新開始(～6月)	かたくり通信54号発行
7月		写真印刷・掲示・配布
9月		写真印刷・掲示・配布
11月		写真印刷・掲示・配布
1月	業務マニュアル更新開始	写真印刷・掲示・配布
2月	業務マニュアル更新	
3月	業務マニュアル編集	

※通年

種類整理・管理、スタッフルームホワイトボード整理、PC内データ整理
行事等活動時の写真撮影

※随時

Facebook、Instagram、ホームページの管理、更新
救急隊への情報提供カードの更新
新規入所者の情報整備
PDCAサイクルを用いた委員会業務の改善

■業務検討会

令和6年度中期方針に基づき「福祉サービス第三者評価受審後の取り組み」を実施した。

【年度目標】 ケアガイドラインを活用し、サービス向上を図る

【評価】 ケアガイドラインより課題を抽出し、取り組みを開始する事ができた。ただし、取り組みの進捗状況の把握がうまくいかず、課題解決までは至らなかった。

【活動内容】

第三者評価基準・ケアガイドラインから、かたくりの里が取り組まなければならない事、施設としてあるべき姿の想定、サービスの向上、業務の効率化等の課題や、運営項目においての課題を抽出し、改善点として提案した。課題やテーマの提案や改善は、業務検討会において、PDCAサイクルを意識して改善計画、実施計画・実行・評価・改善、是正処置を実施した。

1. 第三者評価・ケアガイドラインの活用について

・各委員会・係でケアガイドラインより課題を抽出し、解決に向けて取り組んだ。

係・委員会	検討課題
サービス管理責任者	地域生活移行支援について
療護係	救急対応について

地域支援係	地域における社会資源の把握について
すこやか	支援記録の管理について
安全委員会	感染症 BCP の活用について
事故対策委員会	事故対応の原則について
生活向上委員会	衣類の管理について
環境整備委員会	浴室の環境整備について
防災委員会	防犯対策について
日中活動委員会	行事等の企画・立案・情報発信について
情報管理委員会	地域住民の福祉理解の促進について
研修委員会	研修実施について
権利擁護委員会	苦情解決の仕組みの周知と理解の促進について
業務検討委員会	ケアガイドラインの活用について

福祉サービス第三者評価受審後の取り組み（令和4年～6年 中期方針）

第三者評価受審後、課題となっていた個別支援計画に関する記録の整備について、サービス管理責任者を中心に実施した。次回、令和8年度の受審に向け準備を行う。

2. 身障協認定制度

身障協認定制度を受審するために、業務検討会にて実施した。必須項目は 20 項目中、20 項目実施で認定条件の 100%を達成したが、努力項目は 25 項目中 16 項目の実施で、認定条件の 80%に達しなかった。

3. 課題検討について

課題について PDCA サイクルを意識し、以下の課題について解決へ向けての取り組みを行った。

【主な検討内容】

- ・意思決定支援について
- ・受電設備工事について
- ・安全で正しい排便介助の実施について
- ・入所支援係男性入浴の支援方法について
- ・かたくり祭について
- ・会議録等の回覧方法の見直しについて
- ・服薬管理介助方法について
- ・オンコールについて
- ・ビジョン実現型人事考課制度の導入について
- ・業務体系について
- ・感染症対策について

【グループワーク・研修】

- ・「適切な支援に向けた取り組みの行動目標」
- ・「入浴介助の実施方法」

- ・「スーパービジョン研修」

4. 施設と利用者の話し合い

【活動内容】

- ・毎月「利用者と施設の話し合い」を実施。実施する為の準備・司会進行。

【話し合い内容】

実施日	内 容	利用者参加人数
4月25日	受電設備 高圧機器入れ替え工事について	28名
5月23日	報酬改定、施設設備工事、感染症対策について	25名
6月27日	県身障協オセロ交流会について	23名
7月25日	給食の提供方法について	28名
8月22日	かたくり祭について、浴室工事について	25名
9月26日	防災訓練について、コロナ・インフルエンザワクチンについ	26名
10月24日	感染症対応について、施設設備整備について	24名
11月26日	浴室整備について、インフルエンザワクチン接種について	23名
12月26日	年末年始の対応について	23名
1月23日	感染症の対応について	31名
2月27日	感染症対応について	27名
3月27日	令和7年度の事業計画について	27名

8 施設外活動

■身体障害者施設協議会

日付	研修・会議内容	場 所	参加者
6月21日	県身協 第1回総会並びに施設長庶務担当者会議	ニューオータニ長岡	2名
6月27～28日	関東・甲信越地区 第1回総会・施設長会議 職員支援力アップ勉強会	山梨県甲府記念日ホテル	2名
6月28日	県身協 オセロ交流会	亀田ふれあいプラザ	3名
8月2日	県身協 職員研修会	ユニゾンプラザ	1名
9月26～27日	全国身体障害者施設協議会研究大会	宮城県江陽グランドホテル	1名
10月11日	県身協 支援担当課長会議	ニューオータニ長岡	2名
11月26日	関東・甲信越地区 第2回施設長会議	全国社会福祉協議会	1名
12月19～20日	関東・甲信越地区 職員研修大会	神奈川県パシフィコ横浜	2名
2月21日	県身協 第2回総会並びに施設長庶務担当者会議	ニューオータニ長岡	2名
2月27～28日	関東・甲信越地区 第2回総会・第3回施設長会議	ホテル国際21 長野	1名
3月5日	全国身体障害者施設協議会 経営セミナー	全国社会福祉協議会	1名

9 補助金・助成金等 事業報告

■ 自動車事故被害者受入環境整備事業（入所施設支援費・研修等経費）	2,988,200 円
■ 社会福祉法人清水基金 社会福祉法人助成事業	2,900,000 円
■ 国土交通省 介護職員等緊急確保事業	80,550 円
■ 新潟市 令和5年度結核予防費補助金	3,840 円